

(概要版)

「利根沼田地域のビジネス」に関する指導資料集の作成

－ 学校設定科目「地域ビジネス」での活用を目指して －

長期研修 研修員 菅谷 富夫

研究主題設定の理由

「地域ビジネス」(3単位)

置籍校で、平成20年度から実施する商業に関する学校設定科目。

授業を実施するうえでの課題

- これまで、利根沼田地域のビジネスについて指導する機会がほとんどなかった。
- 指導する教師も利根沼田地域のビジネスについて、必ずしも熟知しているとは限らない。
- 授業を実施するにあたり、指導する教師の共通理解を図る必要がある。
- 指導に必要な資料や教材を準備する必要がある。

研究のねらい

学校設定科目「地域ビジネス」の「第7章 利根沼田地域のビジネス」の授業で活用できる指導資料集を作成し、授業実践を通して、その有効性を明らかにする。

研究の内容・方法

指導する教師の共通理解を図る

- 指導内容を明確にする → 指導内容の三つの柱
- 指導する手順を示す → 35時間分の授業展開例、指導内容の解説

指導に必要な資料や教材の作成

- 提示用教材、配付資料、ワークシート、確認テスト
(利根沼田地域の市役所、町村役場、商工会、観光協会及び事業所などから資料を収集)

■ 学校設定科目「地域ビジネス」の単元構成

第1章 産業経済の発展と消費生活(10時間)

第2章 商品(15時間)

第3章 商品の多様化(10時間)

第4章 流通の仕組みとその担い手(15時間)

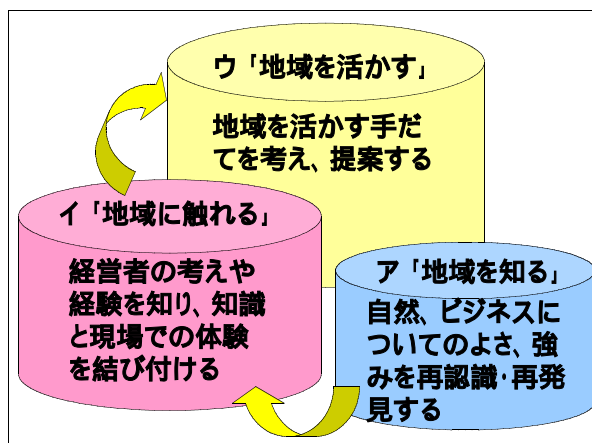
第5章 流通を支える諸活動(15時間)

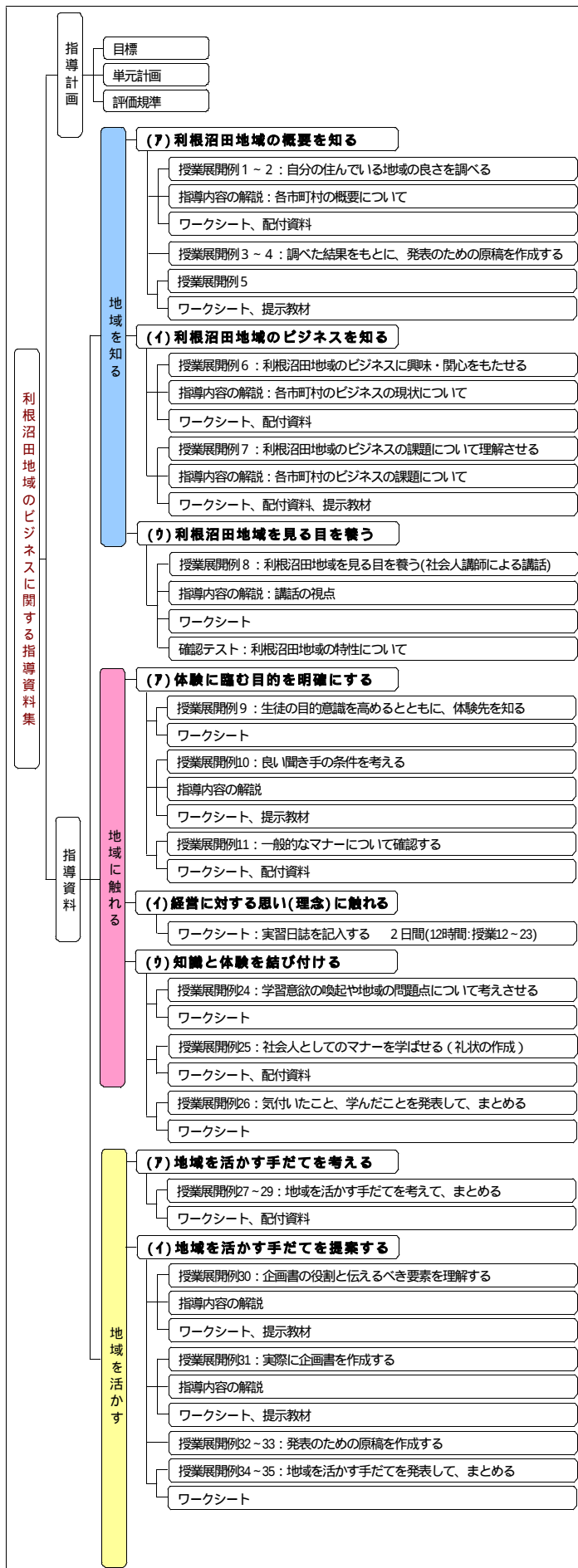
第6章 ビジネスの創造(5時間)

第7章 利根沼田地域のビジネス(35時間)
(指導目標)利根沼田地域に関する理解を深め、利根沼田地域のビジネスの発展に寄与する基礎知識を身に付けさせる

で囲んだ部分である「第7章 利根沼田地域のビジネス」に関する指導資料集を作成する。

■ 指導内容の三つの柱

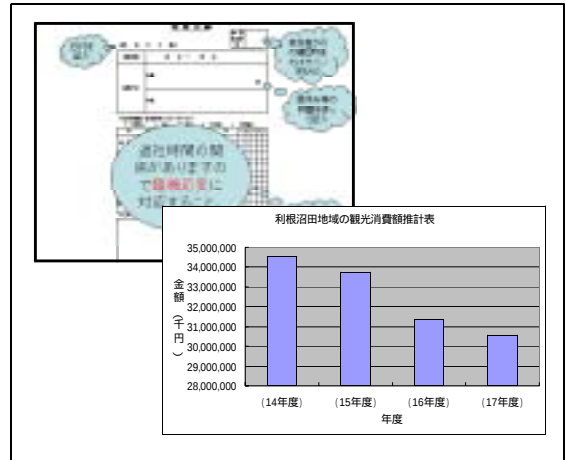




本指導資料集は、Web形式で作成した。

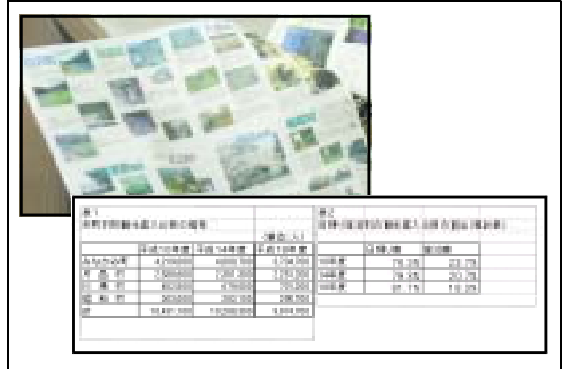
提示用教材

- 実習日誌について、記入する際の注意事項を説明する際の活用できるもの
- ビジネスの隆盛を示すグラフなど



配付資料

- 地域の名所を紹介した観光パンフレット
- 観光客入込数の推移などを示した表など

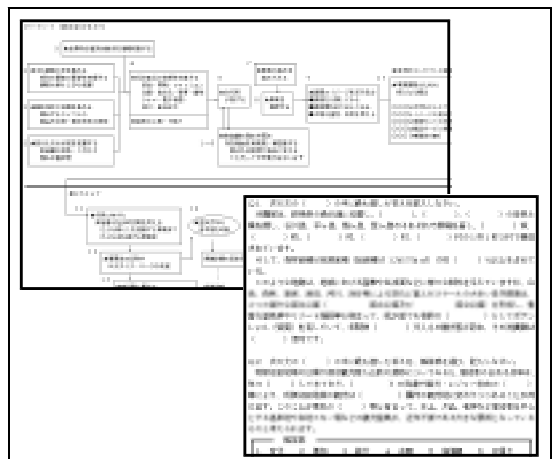


ワークシート

- 気付いたことや感じことをまとめたりすることができるとともに、学習のふりかえりに活用できるものなど

確認テスト

- 生徒の知識の定着と確認及びまとめに活用できるものなど

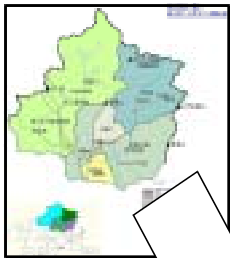


活用による期待される効果

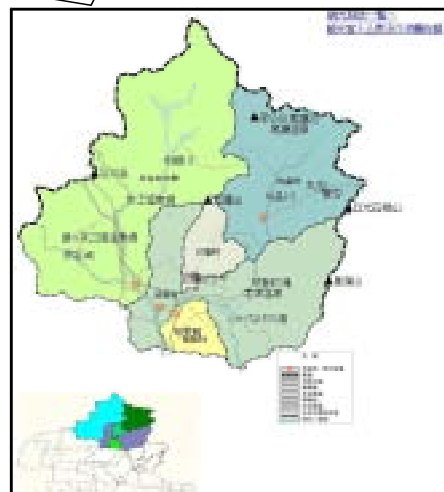
- 最新のデータを、資料や教材に盛り込んだり、直接、聞くことが困難な地域の方にインタビューをした動画を提示することにより、利根沼田地域の実情を踏まえた授業が可能となる。
- 教師による一方的な説明が中心になりがちな授業に、少人数のグループで意見を出し合いながら、学習を進めていく形態の授業展開例を入れることにより、生徒は、いろいろな意見を聞くことができ、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。

授業での活用

本時のねらい：利根沼田地域のよさ、強みを再認識・再発見する。

学習活動	教師の支援及び留意点	指導資料集の活用場面	生徒の様子・反応
○ 個人で利根沼田地域のPRを考える。 ○ 個人で考えた利根沼田地域のPRをグループで発表する。 ○ グループごとにクラスで発表する。 ○ ワークシートに記入する。	○ ワークシートに記入させる。 ○ 自分が気付かなかった意見を、色を変えて、自分のワークシートに追記することを指示する。 ○ グループ内では全員に発表する機会を与え、お互いの考えも尊重するようにまとめさせる。 ○ 自分が気付かなかった意見を、色を変えて、自分のワークシートに追記することを指示し、他のグループの発表にも耳を傾けるようにさせる。 ○ 利根沼田地域が自然豊かなことや主な観光地の位置について確認させる。 【提示教材】 ・ 名所などにマウスポインタを合わせると写真が表示され、クリックすると観光客入込数が表示れる。	 【ワークシート】  【提示教材】	・ 話し合うことによって、知らないことが分かった。 ・ グループで話し合うのはいろいろな意見が聞けてよかった。 ・ 自分で考えたことをグループの中で発表するというのはよかったと思う。様々な考えがまとめられてよかった。 ・ 何処に何があるのかが分かった。 ・ 提示教材を見ながら先生の話の説明を聞くことで分かりやすい。

■ 本授業で用いた指導内容の解説

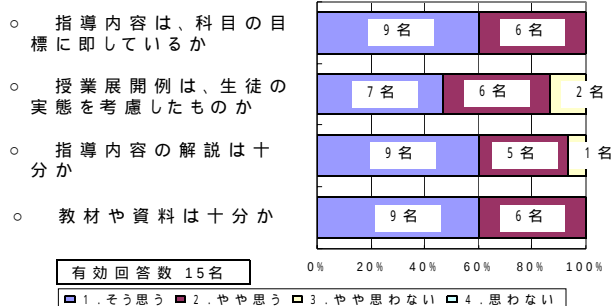


活用の結果

■ 本指導資料集を活用した商業科教師の意見・感想

- 授業のイメージがわいた。
- 系統的によくまとまっていると思う。
- 特色を知り、実際に働くことにより、地域を活かす手だてを見付けることができる。
- 授業展開例によって、何をどう指導すればよいか分かった。
- 教師が促す授業展開例と生徒が考えるものとのバランスがよいと思うので、生徒は地域の特色などについて、しっかり理解できると思う。
- 具体的なデータもきちんとあり、図も分かりやすい。そのため、利根沼田地域のビジネスについて、よく知ることができた。
- 指導内容の解説は丁寧に解説されており、
- ワークシートも使いやすく、授業もしやすくなっていると思う。
- 資料やワークシートが用意されており、教材や資料などは、十分であると思う。
- 多くの資料から取捨選択して行うことが可能である。

■ 本指導資料集の掲載内容についてのアンケート



本授業における指導資料集の有効性

少人数のグループで意見を出し合いながら、学習を進めていく形態の授業を行ったため、自分の知らなかった利根沼田地域の魅力に気付き、利根沼田地域には、他の地域の人々にPRできる魅力がたくさんあることを再認識・再発見することができた。

成果と課題

成果

- 本指導資料集の活用を通して、利根沼田地域のビジネスについて、具体的な指導内容についてのイメージが共有化され、指導する教師の共通理解につながった。
- 地域に密着した情報を基に作成したことにより、指導に活用できる資料や教材を準備することができた。
- 最新のデータを、資料や教材に盛り込んだり、地域の方にインタビューをした動画を提示したりしたことにより、利根沼田地域の実情を踏まえた授業ができた。

課題

- できるだけ新しいデータを掲載することが重要となるので、市役所、町村役場、商工会、観光協会及び事業所などと連携を密に取り、随時改訂を行う必要がある。
- 生徒が実際にビジネスの現場に触れ、経営者などの考えを知るために、地域の事業所にその趣旨を理解してもらうとともに、受入体制を維持していく必要がある。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター
担当グループ：職業情報研究グループ 0270-26-9215（直通）